

町外れの丘の上に立つサンダル工場では、いつもゴムの溶けるにおいが立ちこめ、誰も人が寄りつかない。

「孤独で枯れた女の巣」

その工場を、町の人々はそう呼んだ。

愛を逃した女。愛を憎む女。愛も枯れた女。そしてまだ愛を乞う女たちの、渴望と再生のものがたり。

KAKUTA『甘い丘』（再演）ホームページより

## 出演者オーディションワークショップ

□オーディションの流れ

第1次選考＝書類選考 ※4月中に結果送付予定



第2次選考＝2020年5月16日〔土〕 オーディションワークショップ



第3次選考＝2020年5月17日〔日〕 オーディションワークショップ

※オーディションワークショップは10:00～18:00で調整予定。

※第3次選考は第2次選考を通った方のみのご参加となります。必ず確実に連絡の取れる電話番号、メールアドレスをご記入ください。

□オーディション会場＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 A

□募集人数＝12名程度（未経験者可）

□応募資格＝20歳以上に見える方（18歳以上参加可）

出演者ワークショップ・稽古に極力参加でき、劇場リハーサル期間・本番に全日程参加可能であること。

※稽古期間中は事情に応じてスケジュール調整します。

□参加費＝無料

□応募締切＝2020年4月10日〔金〕17:00必着

※オーディションに際しての会場までの交通費・宿泊費等経費は各自でご負担いただきます。

●応募方法＝専用の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先へ郵送していただくかプラット1F窓口へ直接お持ちください。

## 稽古開始からのスケジュール（下記スケジュール以外にも11～12月に事前ワークショップが数日入る可能性がございます）

①出演者ワークショップ

2020年12月13日〔日〕 ※終日



②第一次稽古

2021年1月8日〔金〕—17日〔日〕 ※平日は夕方・夜間、土日祝は終日



③第二次稽古

2021年2月1日〔月〕—2月23日〔火〕※平日は夕方・夜間、土日祝は終日



④仕込み・劇場リハーサル

2021年2月24日〔水〕—3月5日〔金〕リハーサル・ゲネプロ



⑤本番 会場：主ホール

2021年3月6日〔土〕・7日〔日〕

※劇場リハーサル・本番期間中は必ず参加。稽古期間中は事情に応じてスケジュール調整します。

※3/6-3/7の本番中は終日を予定。

※チケットノルマなど公演参加費は徴収しません。なお、出演料・交通費・宿泊費の支給もございません。

お問  
合せ

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 TEL:0532-39-8810 <http://toyohashi-at.jp>

企画制作：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主催：公益財団法人豊橋文化振興財団

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 「市民と創造する演劇」担当



PLAT 穂の国とよはし芸術劇場  
TOYOHASHI ARTS THEATRE

## 出演者募集

### 市民と創造する演劇

## 『甘い丘』

◆作・演出：桑原裕子(KAKUTA・穂の国とよはし芸術劇場芸術文化アドバイザー)

◆日程：2021年3月6日〔土〕・7日〔日〕

◆会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT アートスペース

2020年度の「市民と創造する演劇」は、穂の国とよはし芸術劇場の芸術文化アドバイザーである桑原裕子を演出に迎え、自身が作・演出を務めた『甘い丘』（2007年初演・第52回岸田國士戯曲賞最終候補）を、公募による出演者と共に上演いたします。上演に先立ちまして出演者を募集いたします。皆様のご応募をお待ちしております。

## 出演者オーディションワークショップ

実施日 2020年5月16日〔土〕・17日〔日〕

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室A

応募締切

4月10日〔金〕

17:00必着！



芸術文化アドバイザーに就任して豊橋に滞在することが増えました。お気に入りの美味しい店もあるし、仲良くなった人たちもいます。でも、この町、この劇場、豊橋の人を本当に知るのには、一緒にものづくりをしてからだという思いがずっとありました。ついにそれが叶います。

せっかくならば濃い時間を過ごしましょう。みんなでわいわい楽しもう、などというやさしいものではなく、本気で、汗みどろで、どっぷり演劇と向き合い、誰にも代わることができないものを共に作りましょう。

暑苦しい言葉を連ねてすみません。しかし『甘い丘』はそういう暑苦しい、泥くさい作品です。ゴツゴツした岩にしがみつぎ、血豆をつくって登り切った丘の上から、新しい可能性が広がる空を一緒に見ようじゃありませんか。 桑原裕子

桑原 裕子（くわばら ゆうこ）：東京都出身。主宰する劇団 KAKUTA では作・演出を兼ね、俳優としては結成以後ほぼ全作品に出演。若手俳優の登竜門『ラフカット』では出演と劇作を手がけ、教育テレビ『中学生日記』『時々迷々』、NHK『ぬけまいる』、ラジオシアターなどを執筆。10～13年ブロードウェイミュージカル『ピーターパン』の潤色・作詞・演出を務めた。女優としても 福原充則作・演出『忘れてもらえないの歌』に出演するなど、多方面で活躍の場を拡げている。18年4月より穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 芸術文化アドバイザー就任。07年初演の KAKUTA『甘い丘』の再演で09年に第64回文化庁芸術祭・芸術祭新人賞（脚本・演出）を受賞。15年『痕跡』で第59回岸田國士戯曲賞候補、第18回鶴屋南北戯曲賞受賞。18年『荒野野』で第5回ハヤカワ悲劇喜劇賞、19年第70回読売文学賞戯曲・シナリオ賞受賞。

